



令和7年3月4日

川西町議会議長 井上 晃 一 殿

川西町議会広聴広報常任委員会  
委員長 橋本 欣 一

閉会中の所管事務調査先進地調査報告について

令和6年第4回川西町議会定例会において許可された所管事務調査について、  
別紙のとおり報告します。

## 令和6年度 広聴広報常任委員会先進地調査報告書

- 1 期 日 令和7年2月6日(木)～2月7日(金)
- 2 調 査 地 茨城県東茨城郡大洗町
- 3 参 加 者 委員長 橋本欣一  
副委員長 鈴木幸廣  
委 員 伊藤進 寒河江 司 寒河江 寿樹
- 4 目 的 【議会の広聴広報に関する先進地調査】
- 5 報 告
- (1) 調査議会 茨城県東茨城郡大洗町議会広報編集委員会
- (2) 日 時 令和7年2月7日(金) 午前10時00分～午前11時30分
- (3) 場 所 大洗町役場
- (4) 対 応 者 大洗町議会議長 飯田英樹氏  
大洗町議会広報編集委員会 委員長 伊藤豊氏  
同 副委員長 関根健輔氏  
同 委 員 今村和章氏  
同 委 員 小野瀬とき子氏

### (5) 調査議会だよりの概要

大洗議会だよりは、昭和52年8月5日「町報おおあらい」の号外として発行され、現在は「大洗議会だより」の名称で発行回数200号を超えている。

発行部数は、毎号5,000部で年4回を基本とし、視察や議会報告、改選等の場合は特別号を発行している。

議会だよりの規格は、A4版でユニバーサルフォントを使用し、フルページカラー刷り(平成20年4月から)となっている。また、発行日は毎議会定例会閉会后、1ヶ月後の水曜日としている。

発送先は、町内会加入世帯3,380世帯(全世帯数は7,689世帯、町内会未加入世帯が多い) 県町村議会議長会、町内学校(5校)、近隣友好都市自治体(14市町村)、企業・施設・関係団体(23団体)等となっている。

発送方法は、町内会加入世帯には町内会長を通じて配布、その他関係機関は郵送している。

発行に係る令和6年度当初予算は1,528千円である。

編集委員会の体制は、議員4名と少ない。

(6) 調査の内容

イ、 すっきり、読みやすいレイアウトですが、誰がどのようにデザインしていますか。

答 レイアウトは事務局や業者に依頼している。

ロ、 縦組み、横組みの構成のコツをお聞きしたい。

答 ページのレイアウトやページ数によって違うが、基本は縦組みとしている。

ハ、 文章の担当分け、さらに校正はどのように行いますか。

答 一般質問は質問者本人、記事および校正は委員全員と事務局で行う。

ニ、 町民の登場機会はどのように検討していますか。

答 検討はしているが、あまり進んでいない。LINEでの情報提供も行っている。

ホ、 取材はどのような役割分担をしていますか。

答 記事から判断し、委員の取り組み易いところから、委員各自で行っている。

(7) 調査報告のおわりに

大洗町は本町と人口や世帯数等がほぼ同じような町であり、議会だよりの発行部数も同程度である。しかし、当初予算は低い規模でありさらに、フルページカラーで発行していることに驚嘆した。平成20年4月に2色刷りから変更したときに業者との打ち合わせを重ねて現行の予算内で収められている。本町の議会だよりの現在2色刷りから、フルページカラーにできるよう検討したい。

また、事務局の支援もあるが、編集委員が4名体制で行っていることにも大変さを感じた。本町の議会だよりの編集作業は6名体制で、さらにアドバイザー4名に参加をお願いしていることが、いかに有意義であるかを改めて実感した。

今後も町民の皆様に向け、議会活動の報告等について、より読みやすい紙面づくりを目指していきたい。